

時代を撃て!!

今、蘇る **ARAKI SOUND**

今から46年前の1960年、三井三池争議の中で、彗星のように現われ数々の歌を残した労働者・作曲家 荒木栄。
争議終結2年後の68年秋、栄は、38歳の若さで夭折。しかし、彼の残した『がんばろう』の歌は、今も、
様々な闘いの中で歌われている。「浪花の巨人・バギヤン」こと、シンガー・ソング・ライターの趙博や
ソウル・フラワーなども新たな意匠で歌い継いでいる。また、70年代のプロテストソングの歌手たち、
高石ともや岡林信康にとっても、先行世代としての荒木栄の存在は小さくないという……

この映画は、荒木栄の生き方を探る若きシンガー・妃月洋子により沿いながら、今だに歌い継がれる「がんばろう」
に籠められた我が国の闘う労働者の想いを浮き彫りにしていきます。それは、同時に60年代末から70年代にかけて
一世を風靡したプロテストソングと時代とのかかわりを立体的に捉えていくことにもなり、ひいては、
「ワーキング・プア」といわれる年収250万円以下の世帯が650万の「現代」という「美しくない」時代を撃ち、
明日を切り開く遠雷ともなるにちがいありません。



荒木 栄

長編ドキュメンタリー映画 (90分)

荒木栄の歌が 聞こえる

リポーター

妃月 洋子 (シンガー)



神戸市に生まれ育つ。関西生まれの父、九州生まれの母。祖先のルーツは、与論島。幼少のころから音楽に興味を持ち、
歌うことが自分のあり方だと信じてやまない。声優学校時代チェリーズ (ユニット名) で活動後 POPROCKBAND
「jammed strings」では4年間 VOCAL を勤める。以降ソロで Acoustic な SOUND を重視した音楽を志してきた。
現在、沖縄の大御所ラテン ROCKBAND 「DIAMANTES/ ディアマンテス」の VOCAL、アルベルト城間氏に認められ、
アルベルト城間氏のプロデュースの元、音楽活動をしている……

プロデューサー

藤田 祐司



TV番組ディレクター・プロデューサー・TVカメラマン 音楽プロデューサー各局の全国ネット系報道番組や、情報番組、
バラエティ、ドラマ、音楽番組の撮影演出などジャンルを超え、様々なヒット番組の仕掛人として、カメラマンディレクター
プロデューサーを歴任。音楽プロデュースにおいては、メジャー系レーベルはもとよりインディーズにもチカラを入れ、
作曲・レコーディングディレクター・プロデューサーとして、精力的に新人の育成を行う。
また近年はひとつづくり・くにつくりをテーマにした地球環境サミット「マザーガイアサミット」を推進している

企画・製作 「荒木栄の歌が聞こえる」製作委員会 / プロデューサー 藤田 祐司 / テーマ音楽作曲 ミヤギ・マモル (NHKドラマ「ちゅらさん2」のテーマ曲・「琉球ムーン」, 「泡盛心中」, 「愛のチカラ」など)
出演 ミネハハ、アルベルト城間 (ディアマンテス)、関島秀樹、妃月洋子 他

株式会社 **アートヒルズ** 内 「荒木栄の歌が聞こえる」製作委員会 URL <http://arakisakae.com>

〒612-0072 京都市伏見区桃山筒井伊賀東町47-3シャトー桃山5F TEL: 090-9332-6387 (直通) 075-603-3244 (代) FAX: 075-603-3229 Mail: minato1@d3.dion.ne.jp